

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	埼玉県浦和競馬場 新2号スタンド	階数	地上4F、地下1F
建設地	さいたま市南区大谷場一丁目8番42	構造	S造
用途地域	市街化区域、無指定、第一種住居地	平均居住人員	1,181 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年9月1日
敷地面積	148,632 m ²	作成者	石井義章
建築面積	1,706 m ²	確認日	2017年9月1日
延床面積	4,324 m ²	確認者	水田亜紀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・地域に愛される浦和競馬場を目指し、運営者・利用者の利便性、来場者の満足度を向上させる建築計画。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・奥行きが浅く、間口の長い観覧席や、エントランスホールの吹抜けにおいて、屋光を有効利用。 ・化学汚染物の拡散量の少ない建築材料を使用し、健康・快適性が高くクリーンな室内環境となるよう配慮。	・開放性の高い空間となるよう、天井高さ・広さを確保、フリースペースの配置に配慮。 ・維持管理が容易な建物となるよう総合的に計画することで、末永く良い状態で使い続けられるよう配慮。	・広場に面してピロティを計画し、利用者が雨に濡れずに移動できる十分な歩行空間を計画。 ・2階屋外テラスで既存建物と接続できる計画とし、既存建物との連続性に配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・太陽光発電による電力削減。 ・高効率な設備機器を積極的に利用することで、建物で使用するエネルギー消費量を低減。	・雨水を積極的に利用。躯体・躯体以外にも、リサイクル資材を積極的に利用し、非再生資源の使用量を削減するとともに、汚染物質を含有する材料の使用を低減。	・敷地周辺が住宅地であるため、周辺環境に配慮しながらも、新たな利用者層の開拓を目指し、様々な利用者にとって使いやすい地域に開かれた施設計画を目標とする。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される